

真格一覧表(通観言の矢印は指向性を表す)

真格一覧表(通観言の矢印は指向性を表す)						←自己の領域→										既存の宗教観との対応			
我燈	通観言																		
	心描	抽化	抽出																
真格・阿頼耶格(真格連続体)	空格	ワ(クウ)	ウ	オ・イ↓	↓ ↓ ア・エ	空我	大自然に没入										「真我」	アニミズム・自然信仰、仏教の「無我」「空」(般若心経、中観派)、唯識思想の「識」「識」の存在を一旦認めて「空」に引き戻す) 解離性障害、統合失調症、重度鬱病	自然・・・(全てが対等)「真格」 人類(真我)・動植物・物体  岩崎式日本語における「格」概念は、上記のような人間観・自然観に立つ中で、自我の芽生えを自覚させられる或る出来事のみ(道具・手段なら「具格」、希求なら「希格」など)を抽出する機能であると言える。従って、一般の言語学で言う「格」とは概念が異なる。
	空識間格	ワクウシキ				空識間我	同上												
	識格	ワシキ				識我	同上												
	識具間格	ワシキグ				識具間我	同上												
	具格	ワグ				具我	同上												
	具及間格	ワグキュウ				具及間我	同上												
	及格	ワキュウ				及我	同上												
	及希間格	ワキュウキ				及希間我	同上												
	希格	ワキ				希我	同上												
	希能間格	ワキノウ				希能間我	同上												
	能格	ワノウ				能我	同上												
	能意間格	ワノウイ				能意間我	同上												
	意格	ワイ				意我	同上												
	意活間格	ワイカツ				意活間我	同上												
	活格	ワカツ				活我	同上												
活主間格	ワカツシュ	活主間我	同上																
主格	ワタシ	常観言	主我(いわゆる自我)										「自我」	人類の特権的地位、「他人」「他我」「個人」「個性」などの概念成立	超越真理・・・(人類・自我の特権性を保証) ↓ 人類・・・自我(個)「主格」→→他我(個)「対格」 ↓ 自然・・・動植物・物体(名詞の性別化による自然支配=文法性)「対格」				
Copyright (C) 2005-2012 岩崎純一 All Rights Reserved. <a href="http://iwasakijunichi.net/">http://iwasakijunichi.net/</a>																			